

きずな

NO. 199 2019- 9

こんにちは **日本共産党**

中村れい子 市政報告です



発行：日本共産党高槻市議会議員団 市議会議員・中村れい子 事務所/☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅/古首部町2丁目15-8-606 ☎685-6636

市営バスの審議会が始まる

次回は9月27日午前10時から
です。傍聴に是非来てください。

7月26日に第1回「高槻市自動車運送事業審議会」が開催され、市が諮問しました。内容は、大型2種免許保有者の減少で乗務員の確保が困難な状況にあること。乗合バスの運送収益も減少し先行きが見通せない状況が続いていることを受け、「厳しい経営環境を踏まえ地域住民の移動手段を確保するため、市営バスの今後の事業経営のあり方について」諮問しました。今後5回の審議を経て答申書を来年1月にまとめ2月に提出予定です。

市営バスの役割は大きい

また、5年前に出された前回の答申の時には、会長から「市営バスは事業開始以来、路線・ダイヤを着実に充

5年前の答申に公共交通の役割が大きいと明記

また、5年前に出された前回の答申の時には、会長から「市営バスは事業開始以来、路線・ダイヤを着実に充

また、5年前に出された前回の答申の時には、会長から「市営バスは事業開始以来、路線・ダイヤを着実に充



今年2月に65周年を迎える市営バスは、1954年2月に民間バスを買い取り、市営バスが始まりました。13両しかなかったバスは現在171両に増え、7路線が24路線に営業キロも53キロ増えています。

2019年4月 (現在)	1954年2月 (事業開始時)
・車両→171両	・車両→13両
・職員→313名	・職員→36名
・運賃→均一区間220円	・運賃→10円
・路線数→24路線	・路線数→7路線
・営業キロ→126km	・営業キロ→73km

	高槻市全体	市営バス勢圏内 (300㎡)	カバー率
面積	105,276,194 ㎡	44,745,276 ㎡	42.5%
総人口	353,274 人	279,008 人	79.0%
年少人口	45,879 人	36,191 人	78.9%
生産年齢人口	207,382 人	164,776 人	79.5%
老年人口	96,828 人	75,486 人	78.0%
高齢化率	27.4%	27.1%	

また、5年前に出された前回の答申の時には、会長から「市営バスは事業開始以来、路線・ダイヤを着実に充

また、5年前に出された前回の答申の時には、会長から「市営バスは事業開始以来、路線・ダイヤを着実に充

の促進など、市民生活に欠かすことのできない重要なインフラとして大きな役割を果たしている」と発言があり、答申しました。

答申には、JR以北の丘陵地域においてはバス交通は非常に重要であること。車を運転しなくなった人にとっての移動手段の確保、若者の自動車離れの傾向から公共交通の役割は大きいこと。可能な限りバス路線が維持されることが望ましいと公共交通の役割を明記しています。



高齢者無料乗車証の効果は大きい

2016年3月に市は「市営バス高齢者無料乗車証制度についての利用実態アンケート調査」の結果を発表しました。

2015年10月に調査は行われ、敬老パスの効果明らかになりました。経済効果は32億円、そのほかも、外出する機会が増え、車を使わないことでの効果、高齢者の健康寿命を、伸ばしている効果などがありました。高槻市の健康寿命は、女性84・54才、男性80・58才と、大阪府内(13万人以上の市)

で2番目に長くなっています。

1人1日当たりの移動回数は、高齢になるにつれて減少する傾向があります。高槻市は大阪府全体と比較すると高齢者の移動回数が多く、バスの利用が多い状況があります。65才から75才では大阪府が2・0で高槻市は2・23、75才以上は、大阪府が1・28に対して高槻市は1・41です。(出典第5回近畿圏パーソントリップ調査)市営バスがあり、敬老パスがあるからではないでしょうか。

運転免許証の返納

高齢者の車を運転する理由は買い物や医者に行く交通機関がないことです。運転免許の返納には、バスなどの整備が必要です。

高槻市は北摂7市の中で返納率が一番高く、返納数は年間1500件程度になっています。

ここのとりパス

市営バスでは子育て世代の移動支援の観点から、妊娠中の自転車やマイカーに代わる移動手段として「ここのとりパス」を導入し、妊娠中の方と同伴者1人の運賃を、1人に付き100円にします。



審議会を傍聴して

第1回から傍聴しましたが、傍聴者になんの資料も配付されず、説明されている内容が

市営バスは全体では健全経営

昨年の決算は赤字でしたが、大きな理由は会計処理の方法を変更したこと。一昨年までは、定期券販売の時に収入に入れていたが、昨年からは月ごとに入ることに変更し、昨年の収入

が6600万円減りました。その分、今年度の収入になります。また、災害のために運休したことで、原油価格が上がったこともあり1560万円の赤字でした。しかし、今までの決算はずっと赤字を

続けています。昨年度の決算も会計処理の変更がなければ、赤字でした。赤字の路線があっても、赤字の路線もありません。黒字の路線もあり全体としては健全に運営できています。

市は、高齢者無料乗車証のあり方を検討

施政方針には、市営バス無料乗車補助制度については、今後の在り方について検討を行うとあります。各党(党派)の代表質問でも取り上げられ、自民党は有料化を提言し、維新の会は早く結論を出すように求めました。私は代表質問で、敬老パ

スの効果や利用者が多いことを示し継続を求めました。敬老パスの利用運賃は、高齢者ICカードの集計で9か月分では10億円、1年間では13億4千万円になります。しかし市からの補助金は21年間6億円で据え置いたままです。

高齢者ICの年齢別実利用者数の人口に対する割合

	実質利用者数 (人)	人口 (人)	対人口比 (%)
70~74歳	10,579	25,559	41.4%
75~79歳	12,570	23,844	52.7%
80歳以上	12,773	29,699	43.0%
合計(年齢不明を含む)	36,115	79,102	45.7%

把握できませんでした。終了後職員に傍聴者にも審議の内容がわかるように、資料は配付するべきと注文をつ

け、後で資料が届きました。市営バスの姿勢が問われます。市営バス路線の維持、敬老パスの

継続と大事な問題を審議しています。みなさんも傍聴に来てください。次回は9月27日午前10時からです。

事前に必ず連絡をください



市会議員
中村れい子

市政相談日は
毎月、第2土曜日です

場所：中村れい子事務所 時間：朝10時～昼12時まで
別所中の町3-7 TEL 681-8480/自宅 TEL 685-6686